

平成27年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国際交流・国際協力の促進に必要な経費			担当部局庁	男女共同参画局			作成責任者
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			総務課長 池永 肇恵
会計区分	一般会計			政策・施策名	69 国際交流・国際協力の促進(政策15-施策③)			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	男女共同参画社会基本法 第7条及び19条			関係する計画、 通知等	男女共同参画基本計画			
主要政策・施策	男女共同参画、女性活躍			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性の地位向上のための国際的規範や基準、取組の国内への浸透を図るとともに、男女共同参画社会の形成に向けた国際交流、国際協力を促進するため、各種国際会議に積極的に出席し、各国代表との意見交換を行う他、国際的動向に関する情報収集・分析、我が国の施策・取組についての発信を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「国連婦人の地位委員会(CSW)」 「APEC女性と経済フォーラム(WEF)」等の男女共同参画に関する国際会議に出席し、国際的な意思決定の場に我が国の基本的な考え方を反映させるとともに、日本の男女共同参画の現状や施策を紹介する英文パンフレットを作成・配布するなど、日本の状況を海外に積極的に発信する。また、国際会議等の機会を通じて収集した海外の取組方針や事例等について、国内で積極的に広報・啓発を図る。							
実施方法	直接実施							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	22.1	20	18.8	16.9	145	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	22.1	20	18.8	16.9	145		
	執行額	16.2	12.1	16.7	-	-		
執行率(%)	73%	61%	89%	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	「女子差別撤廃条約」という用語の周知度を平成27年度までに50%以上にする	「女子差別撤廃条約」という用語の周知度	成果実績	% (H24調)	34.8	-	-	-
			目標値	%	50	50	50	50
			達成度	%	69.6%	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載						<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	国際交流・国際協力の推進(国際会議への出席回数)	活動実績	回	9	8	8	-	
		当初見込み	回	7	8	8	8	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	我が国の男女共同参画施策に対する海外の関心度の向上(海外要人の来訪件数)	活動実績	回	8	19	37	-	
		当初見込み	回	10	15	20	20	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	2.1百万円 16.9百万円/8回	単位当たり コスト	百万円	1.8	1.5	2.1	2.1	
		計算式	支出額/回数	16百万円/9回	12百万円/8回	16百万円/8回	17百万円/8回	
平成 27 ・ 28 年度 予算 内訳 (単位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2	118.2	「新しい日本のための優先課題推進枠」118 ・アジア・太平洋輝く女性の交流事業 ・女性リーダー育成に向けた諸外国の取組に関する調査 我が国の先進的な女性活躍等の取組について国際的な情報発信の強化の新規要求 APECにおける女性と経済に関する活動経費に関する増				
	職員旅費	12.3	18.6					
	庁費	4.4	4.4					
	非常勤職員手当	0	3.8					
計	16.9	145						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	男女共同参画社会の形成は国として推進する重要な事業として位置づけられており、国連やAPEC等の国際的組織においても女性の活躍促進は重要な課題と位置づけられている。併せて、女子差別撤廃条約締約国として、一層の取組を進めていく必要があることから、この分野における国際的協調及び普及活動は社会のニーズ、国際的要請を的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	各国政府間の交流、情報交換など国際的な取組のため、国が主体となって実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	安倍内閣の成長戦略の中核に位置づけられている女性の活躍は国際的にも高い関心が寄せられており、我が国の取組や成果を国際社会でPRすることは非常に重要であり、優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	通訳業務について一般競争入札を行い競争性を担保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	外国旅費については、複数社から見積を徴し、役務(翻訳・通訳等)についても、複数社からの見積及び一般競争入札を実施し、競争性及びコスト水準の妥当性を確保しながら適切に使用している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	通訳業務等の役務費及び職員旅費等、費目・使途ともに真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	航空券はディスカウントチケットを利用することにより、旅費の削減を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	2014年9月に「女子差別撤廃条約実施状況第7回、第8回報告」を国連に提出した他、2015年が我が国が同条約批准して30年であることを踏まえ、「女子差別撤廃条約の果たしてきた役割と最近の動向について聞か会」の開催や、広報誌「共同参画」での特集や研修等の機会を通じて、同条約に関する周知や情報提供を行い、理解の促進を図った。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	男女共同参画施策に関する海外発信用の英文パンフレットについては、企画・デザイン等を職員が行い、印刷のみ発注することで、低コストで作成している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね見込み通りである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	国際会議出席の成果については、「聞か会」(情報・意見交換会)、facebook、ホームページ、広報誌等において周知を図る等、施策の効果的な推進に向けた取組を行っている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	・国際会議については、出席の有無・出席人数等を検討し、航空券についてはディスカウントチケットを使用するなどの取組を実施するなど出席に係るコスト削減の取組を続け、毎年予算は削減し続けている。 ・国際会議の場で安倍内閣の成長戦略の中核に位置づけられた女性の活躍等に関し、我が国の取組を積極的に発信を行なった結果、海外からの関心が高まり、政務三役や局長、審議官等に対する我が国の施策の聴取や意見交換を目的とした来訪件数が増加しており、施策が効果的に推進されている。			
	改善の方向性	引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努め、その結果を次年度概算要求にも反映させる。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、コストの抑制に努めることなどにより、予算の効率的執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0133	平成23年度	0139	平成24年度	0135
平成25年度	0096	平成26年度	0092		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

男女共同参画局
 (総務課国際担当)
 16.7百万円

【随意契約】
 A. Nakamura International Limousine, L.L.C.
 0.4百万円
 「米国要人、国連要人との会談」車両借上げ料

【少額随意契約】
 B. (株)サイマル・インターナショナル
 0.9百万円
 「APEC女性と経済フォーラム」同時通訳業務

【一般競争入札】(共同調達)
 C. (株)サイマル・インターナショナル
 0.3百万円
 「市民的及び政治的権利に関する国際規約～第6回政府報告審査」同時通訳業務

【随意契約】
 D. Select Service Partner Finland Oy
 0.3百万円
 「スウェーデン、フィンランドの要人との会談」空港貴賓室借上げ料

【少額随意契約】
 E. (株)リンクトランス・サイマル
 0.1百万円
 「ESCAP 男女共同参画及び女性のエンパワメントの促進に関するアジア太平洋閣僚宣言」英文和訳

【一般競争入札】
 F. ヒューマンコム(株)
 1.8百万円
 「第6回東アジア家族に関する大臣フォーラム」通訳業務」同時通訳業務

【少額随意契約】
 G. (株)ステージ
 0.5百万円
 「第59回婦人の地位委員会／北京+20」同時通訳業務

【少額随意契約】
 H. シンソー(株)
 1百万円
 「Women and Men in Japan」印刷

I. 事務費
 11.4百万円
 各種会議への出席に係る支出等(職員旅費等)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. Nakamura International Limousine, L.L.C.			E. (株)リンクトランス・サイマル		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	車両借り上げ	0.4	役務	英文和訳	0.1
計		0.4	計		0.1
B. (株)サイマル・インターナショナル			F. ヒューマンコム(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	同時翻訳	0.9	役務	同時通訳	1.8
計		0.9	計		1.8
C. (株)サイマル・インターナショナル			G. (株)ステージ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	同時通訳	0.3	役務	同時通訳	0.5
計		0.3	計		0.5
D. Select Service Partner Finland Oy			H. シンソー(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	貴賓室借り上げ	0.3	印刷製本	冊子印刷	1
計		0.3	計		1

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Nakamura International Limousine, L.L.C.	「米国要人、国連要人との会談」車両借り上げ料	0.4	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマル・インターナショナル	「APEC女性と経済フォーラム」同時通訳業務	0.9	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマル・インターナショナル	「市民的及び政治的権利に関する国際規約～第6回政府報告審査」同時通訳業務	0.3	2	64.9%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Select Service Partner Finland Oy	「スウェーデン、フィンランドの要人との会談」空港貴賓室借り上げ料	0.3	随意契約	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リンクトランス・サイマル	「ESCAP 男女共同参画及び女性のエンパワーメントの促進に関するアジア太平洋関係宣言」英文和訳	0.1	随意契約	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヒューマンコム(株)	「第6回東アジア家族に関する大臣フォーラム」通訳業務」同時通訳業務	1.8	2	-

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ステージ	女性差別撤廃条約批准30周年記念の開催に伴う同時通訳	0.5	随意契約	-

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シンソー(株)	「Women and Men in Japan」印刷	1	1	随意契約

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

I. 職員A			M.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	女性の活躍推進に関する米国要人、国連要人との会談(NY、ワシントンDC)に係る旅費	2.3			
計		2.3	計		0
J.			N.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
K.			O.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
L.			P.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	女性の活躍推進に関する米国要人、国連要人との会談(NY、ワシントンDC)に係る旅費	2.3	-	-
2	職員B	女性の活躍推進に関する米国要人、国連要人との会談(NY、ワシントンDC)に係る旅費	1.1	-	-
3	職員C	第59回婦人の地位委員会／北京+20(NY)出席に係る旅費	1.1	-	-
4	職員D	女性の活躍推進に関する米国要人、国連要人との会談(NY、ワシントンDC)に係る旅費	0.7	-	-
5	職員E	女性の活躍推進に関する米国要人、国連要人との会談(NY、ワシントンDC)に係る旅費	0.6	-	-
6	職員F	B規約報告審査(ジュネーブ)出席に係る旅費	0.6	-	-
7	職員G	第59回婦人の地位委員会／北京+20(NY)出席に係る旅費	0.5	-	-
8	職員H	APEC女性と経済フォーラム(北京)出席に係る旅費	0.4	-	-
9	職員I	APEC女性と経済フォーラム(北京)出席に係る旅費	0.4	-	-
10	職員J	APEC女性と経済フォーラム(北京)出席に係る旅費	0.3	-	-